

2009年10月2日

学生との協働 ー広島修道大学図書館ー

広島修道大学図書館
情報サービス係 津原有美子

1

1. 協働のパターン

- 図書館運営補助
 - 配架・乱れ直し、開館準備、夜間・土日
- 授業補助
 - FYS(ファーストイヤー・セミナー)
- 利用相談
 - ピア・サポート

2

2. 配架・乱れ直し、開館準備、夜間土日

- 配架・乱れ直し
 - 2003年の増改築でフロアが拡大したことを機にスタート
 - 約10名の学生が空きコマを利用
 - 同時に2～3名
 - 返却図書がある程度たまったら配架に行き、その他の時間は乱れ直し

3

2. 配架・乱れ直し、開館準備、夜間土日

- 開館準備
 - 2008年度に開館時間を30分繰り上げ8:45に
 - 毎日8:15-8:45に2名の学生と1名の非常勤職員が対応
- 夜間土日
 - カウンター業務全般
 - 夜間は月～金の16:45～21:45
 - 土曜日は、午後のみ 日曜日は終日
 - 9名の学生がシフトを組んで2名ずつ勤務

4

3. FYS I (ファーストイヤー・セミナー I)

- FYSとは？
 - 2007年度より始まった初年次教育科目の一つ
 - 部局担当の授業が含まれている(キャリアセンター・学生部・学習支援センターなど)
 - 1年生全員(約1500名)が受講

5

3. FYS I (ファーストイヤー・セミナー I)

- 業務内容は、図書館担当のコマでの
 - ①OPAC実習の補助1名
 - ②館内ツアーの引率2名
- 大学院生6名、学部生10名で全68クラスに実施
- 採用時に1コマ90分かけて研修
- 学科・専攻により紹介する資料・ツアーのルートにアレンジが必要

6



3. FYS I (ファーストイヤー・セミナー I)

□ 問題点

- 授業なのにドタキャン・遅刻がある
- 勤務してくれる学生が見つかりにくい (特に大学院生)
- 学生は様々なタイプ・・・「これから育つ」こちらの割り切りも必要

7

3. FYS I (ファーストイヤー・セミナー I)

□ よかったこと

- 上級生が引率することで、ツアーが協力的に進行
- 大学院生の説明は期待以上(自分の専攻分野の資料の必要度、利用方法など)
- 担当学生は知ってるようで知らない図書館のことが分かるように(配架、書庫など)

8

4. ピア・サポート

- 図書館利用上の簡単な質問への対応
 - 配架場所、プリンターの紙詰まりなど
- 今年度4月スタート
- 全員公募による
- 人数は、大学院生4名 学部生6名
(2009年10月現在)
- 採用時には、約半日かけて配架や各種DBによる検索も研修

9





4. ピア・サポート

□ 半年経過してみた

- 大学院生や4年生を想定していたが、結果的に学部3年生が半数の5名に…→就職活動を意識?
- ピア学生は、ルールを守らない学生に案外厳しい(おしゃべり、席取り、コピー)…→衝突が心配
- 質問の幅が広がった(レポートの書き方や参考文献の探し方まで)
- 職員では気づかない問題をいち早くキャッチ
- 印刷用紙の補充など、簡単な作業で煩わされることがなくなった

10

5. 最後に

□ 学生にとっての協働

- 授業の空き時間でアルバイトできる
- 社会性(コミュニケーション能力や責任感)が身につく

□ 図書館にとっての協働

- 手のかかる? 即戦力
- 学生の成長に期待
- 必要に応じて人数調整が可能
→その裏返して、期待どおりに行かないことも
- 連絡、調整、フォローは本当に大変です

11